

ワークショップ 企画案

計画策定にあたり、計画についての住民の理解を深め、文化芸術を通じた将来のまちづくりをともに考えるためのワークショップの運営を行います。

1. 参加対象

・文化芸術への関心はライフステージによって大きく異なることから、参加対象別に開催します。

※文化芸術活動団体については、「関係団体ヒアリング」で調査を行います。

参加対象	主な特徴
福岡市等へ働きに出かける人	主に 30～50 歳代男性が多く、仕事が忙しいため、文化芸術に関心があっても鑑賞すらしていない。
18 歳未満の子ども・若者	これからの本市の文化芸術の担い手であるとともに、アニメや YouTube 含めて、子ども・若者が関心・興味のある文化芸術を把握する必要がある。また、文化部活動への意向を把握する。
子育て中の両親	主に 20～40 歳代女性が多く、子育て中のため文化芸術に触れる機会が少ない。 一方で子どもに対して、文化芸術の鑑賞機会の提供を求めている。
高齢者	定年退職等により時間もお金も余裕のある 60・70 歳代が文化芸術活動を再開しやすい。 一方で足腰に負担がある場合、文化施設に行くことが出来ず、年金生活で余力がないことも多い。

2. 開催概要

- ・感染症対策の上、9～11月の平日又は休日の2時間程度とします。
- ・受託事業者がファシリテーターを務めます。
- ・参加対象のうち、「子育て中の両親」と「高齢者」については、1つの回でまとめて開催します。
- ・広報用のチラシを作成し、公共施設や駅等へ配架・配布・掲示し、市内在住者から参加者を集めます。
- ・3～4テーブルに分かれ、冒頭に趣旨説明・アイスブレイク（25分程度）後、3つ程度の議題について意見交換し（25分×3回）、最後に発表・まとめます。

（プログラム案）

開催場所・日時	参加対象	意見交換の主な議題
博多南駅前ビル 「ナカイチ」 (平日夜開催)	福岡市等へ働きに出かける人 20名程度	・文化芸術への関心や、日常的な文化芸術に対する行動 ・文化芸術に触れられない理由や、課題解決方法(施設の夜間延長等)

開催場所・日時	参加対象	意見交換の主な議題
		・ビジネスにおけるアートの重要性（アート思考の導入等）
ふれあいこども館 （平日夕方、又は休日）	18歳未満の子ども・若者 20名程度	・学校や部活動、休日等における文化芸術の直接・間接の行動や内容 ・地域文化倶楽部へ移行する場合の意見やアイデア ・20年後の那珂川市の文化芸術振興に期待したいこと
ミリカローデン那珂川 （平日日中、又は休日）	子育て中の両親 20名程度 高齢者 20名程度	・日常的な文化芸術の行動や関心のある分野・内容 ・文化芸術に触れられない理由や、課題解決方法（アウトリーチ等） ・将来を担う子ども（孫）に対する施策ニーズ

（タイムテーブル例）

項目	内容	時間
開会	・開会挨拶 ・アイスブレイク（自己紹介等） ・趣旨説明	20分
意見交換	・ワークショップ方法の説明 ・ラウンド1「1つめの議題」 ・ラウンド2「2つめの議題」 ・ラウンド3「3つめの議題」	90分
発表・共有	・意見交換内容の発表・共有	10分
閉会	・閉会挨拶 （・交流タイム）	